

ハトムギ（薏苡仁）の抗炎症・抗腫瘍活性

八木 晟

医薬ジャーナル 25 (3) 71-74 (1989).

Anti-inflammatory action of Coix seed

Akira YAGI

抄録 ハトムギ（種子は薏苡仁）の抗炎症・抗腫瘍活性成分に関する綜説である。ハトムギは蛋白・脂質・ Mg^{2+} ・ Ca^{2+} に富む穀物で、薏苡仁は解毒排膿・利尿を目的に漢方処方に配合されている。その成分は脂肪類で、中でもコイキセノリドは1961年単離・合成され抗腫瘍性を示した。しかし、追試の結果、現在はその存在が疑問視されている。近年、不飽和脂肪酸は制癌・発癌および発癌プロモーターとのかかわりから（過酸化脂質：起炎物質）大きな話題となっている。薏苡仁の抗炎症・抗腫瘍物質として主として不飽和脂肪酸からなる脂肪の効果やイボに対するこのものの作用について言及し、且つ薏苡仁の薬効の一つ鎮痛作用についてその作用薬物に関する我々の研究結果をまじえて、広く薏苡仁の抗炎症作用を解説した。